授業科	斗目名	看	護	過	程	担当教員	阿部	オリエ、	小手川	良江		
開講年次		2年前期		セメスター		3	時間数(単位装	数)	45	(2)		
必修選択 必修選択		必修		授業形態		演習	使用教室					
授業の	D目的		、基盤と			の持つ健康上の課 学ぶ。また、演習:						
到達目標		<ol> <li>看護過程とは何かについて説明できる。</li> <li>看護の本質と看護過程との関係について説明できる。</li> <li>看護過程の各段階について説明できる。</li> <li>看護過程を展開するための基礎的能力を養う。</li> <li>看護実践における看護過程の意義について考察できる。</li> </ol>										
ディプロ リシー ける科 位置	-にお 4目の	問題を見極め『疾病と治療』 護技術 I 』 ペ 要となる。本 つながり、看護	、最善の  、『フィジ  ・『看護    科目を学   	看護を提供さ カルアセスメン 技術 II 』は、 修した後、 仮 学びを深化さ	するため /ト』な 「実施 建康障等 せてい	基に、看護の知識の方法論を学ぶが どは「アセスメント」 」と主に連動する きをもった対象者で く。『看護過程』は、 法論を修得するた	受業である。既 」を行う際必 など、今までに 実践する『看 いかなる対象	習の『人( 要な知識 こ学修し) :護過程( こおいて	体の構造 となる。 た全ての の展開 も活用 「	きと機能』、 また、『看 の知識が必 実習』 へと		
ディプロマポ リシーとの 関連		人間の尊厳。 利を擁護する		自己教育力	J	チームで働く力	問題解決	:カ		の専門性 究する力		
				0			0					
					授業	<b>食計画</b>						
□	授業内容			授業方法		学修課題 (予習・復習)			取組 時間	担当者		
1		言護過程とは何か(1):定義と 特徴、意義、諸段階			ノーテジ	予習: 事前学習課題について春休み期間中に ノートにまとめる テキストp206-226までを熟読し、ポイントをおさ える		(	90 分	阿部		
2		看護過程を展開していくための 事例学習を深める(1)		めの講義	機能	予習 (春休み):事例に関連した人体の構造と機能、疾患、等について学習する 復習:不足していた学習を行いノートにまとめる		6	60分	小手川		
3	看護過程とは何か(2):看護 の発展と看護過程、看護診断の 考え方					予習:テキスト p226-243 を熟読し、ポイントをお さえる			50分	阿部		
4		看護過程を展開していくための 事例学習を深める(2)			t	予習:事例の病態・基本情報についてまとめる 復習:プロフィール用紙にまとめる			90分	小手川		
5	看護の本質と看護過程との関係: 看護における人間の捉え方、 ゴードンの機能的健康パターン			方、講義		予習: ゴードンの機能的健康パターンについて 調べる		WT (	50分	阿部		
6	第一段階 (アセスメント):(1) アセスメントの意味と枠組み			(1) 講義 演習	さえ 復	予習: テキスト p226-238 を熟読し、ポイントをおさえる 復習:「栄養 / 代謝」のクラスタに取り組み完成する		6	60 分	阿部		
7	*7-21回は、看護過程の各 段階について、講義と並行してグ ループ別事例演習を行う			I	予 復 に 。	習:「栄養 / 代謝」に耳 習:グループワークや教 はり完成する	負からのフィードバ	<b>ヾック (</b>	60 分	阿部		
8	[担当教員による各クラスタの フィードバック]			タの 演習 GW	復 に。	習:「活動 / 運動」に耳 習:グループワークや教 はり完成する	員からのフィードバ	<b>ヾック (</b>	50分	担当教員		
						習:「健康知覚 / 健康管 習:グループワークや教			60 分	担当教員		

環

間

欧

10				予習:「排泄」「睡眠/休息」「認知/知覚」「自己知覚/自己概念」に取り組む 復習:グループワークや教員からのフィードバックにより完成する	60 分	担当教員				
11				予習:「役割/関係」「性/生殖」「コーピング/ ストレス耐性」「価値/信念」に取り組む 復習:グループワークや教員からのフィードバック により完成する	60 分	担当教員				
12			講義	予習:テキスト p238-239 までを熟読し、ポイント をおさえる、アセスメントの完成	60 分	阿部				
13	第一段階 関連図と全	(アセスメント):(2) ☆体像	演習 GW	予習:関連図、全体像作成 復習:グループワークや教員からのフィードバック により課題を明確にする	60 分	担当教員				
14	[関連図、 . バック]	全体像までのフィード		予習:関連図、全体像作成 復習:グループワークや教員からのフィードバック により課題を明確にする	60分	担当教員				
15				予習:関連図、全体像完成 復習:グループワークや教員からのフィードバック により完成する	60分	担当教員				
16	- 第一段階(	(看護問題の明確化):	講義	予習:テキスト p239-247 までを熟読し、ポイント をおさえる、関連図、全体像完成	60 分	小手川				
17	看護問題 共同問題、	のタイプと記述方法、 優先順位の決定と問	演習	予習:看護問題作成 復習:グループワークや教員からのフィードバック により課題を明確にする	60分	担当教員				
18	題リスト		GW	予習:看護問題作成 復習:グループワークや教員からのフィードバック により完成する	60 分	担当教員				
19		(看護計画の立案): ご、介入計画の立案	講義	予習:テキスト p247-252 までを熟読し、ポイント をおさえる	60 分	小手川				
20	[看護問題 ドバック]	、看護計画までのフィー	演習 GW	予習:看護計画完成	60 分	担当教員				
21	事例演習0	Dまとめ	演習 GW	予習:看護計画までの完成	60 分	担当教員				
22	第四段階 価)	(実施)•第五段階(評	講義	テキスト p252-256 までを熟読し、ポイントをおさ える	60 分	小手川				
23	1,1042 4174	こおける看護過程の意 考察する、まとめ	講義	予習:事例演習評価表を用いての評価	60 分	阿部				
	行履修 科目									
テキスト		茂野香おる 他:系統看護学講座 専門分野1基礎看護学〔2〕基礎看護技術 I (第 16 版). 医学書院, 2018.								
参考文献		1) 渡邊トシ子 編:ヘンダーソン・ゴードンの考えに基づく実践看護アセスメント (第3版). ヌーヴェルヒロカワ, 2011. 2) NANDA International: Nursing Diagnoses Definitions: Definitions & Classification 2018-2020 Eleventh Edition. 日本看護診断学会監訳: NANDA — I 看護診断 定義と分類 2018-2020. 医学書院, 2018. 開講時、文献リストを配布する。								
評価方法		演習の取り組み姿勢(40%)、学習ノート(10%)、看護過程の記録物(50%)により総合的に評価する。なお、 遅刻(1点減点)や欠席(3点減点)についても厳重に評価する。								
	員等の 務経験	看護師の臨床経験のある教員が、その経験を活かして、看護職にとって必要不可欠な方法論となる『看護過程』 について講義・演習を行います。								
メッセージ		看護の対象となる人間を捉え、必要な看護援助を見出していくためには、人体のメカニズムを理解しておくことが不可欠となります。事例患者の病態、治療等については既習内容を活用しながら、自己学習を行い、学習ノートに適宜まとめてください。また、テキストの該当ページを予習したうえで授業に参加し、事例演習の際は、グループで検討する内容について事前に自己学習を行った上で参加することが求められます。グループ別演習では、本授業および関連科目で習った知識を活用し、主体的、計画的に課題に取り組みましょう。他者とのディスカッションを通して視点を広げ、教員からの個別フィードバックを積極的に求め、看護過程の展開能力を育成していくことが重要となります。春休みの課題も含め、一歩ずつ学習を積み上げてほしいと思います。								